

2022年度－2024年度のサステナビリティの目標と取組み実績

重点領域		主な取組内容と目標および取組みの方向性	2022年度-2024年度の取組み実績	達成度
E	環境に配慮した 企業活動の推進	再生可能エネルギーの導入 2022年度中に自社で契約する使用電力を再生可能エネルギーへ切り替え	2022年6月に、電力会社との直接契約分全ての切り替えを完了済（約630店、3拠点）	○
		自社GHG排出量ネットゼロへの取組み 2030年までに自社GHG排出量ネットゼロ	管理会社が契約する電力は、再生可能エネルギーへ順次切替中 2024年度再エネ率について現在集計中	
		エネルギー使用に係る原単位 対前年度比マイナス1％	2023年度比について現在集計中	
		環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入する「グリーン購入」の継続実施 物品の購買時には環境負荷を考慮し負荷の少ない商品の購入を推進	購買業務規程に基づき、優先的なグリーン購入の継続実施	○
		地域清掃活動への参加 当社拠点のある地域で開催されている清掃活動への参加	港区、千代田区、中央区、大阪市、横浜市の清掃活動に参加（累計462名）	○
		森林保全活動の実施 森林保全活動「アコムの森」の開催	神奈川県および大阪府を活動の場とし、計18回開催（延べ541名参加）	○
S	人間尊重の精神に基づく ダイバーシティの推進	働きやすい職場環境づくり（健康経営の推進、多様な働き方の検討） 長時間労働者数（月間残業80時間超）2024年度末0名	2022年度末0名 2023年度末4名 2024年度末11名 累計15名	×
		女性社員の活躍推進（ダイバーシティ推進） 女性管理職比率の向上	2024年度末時点、女性管理職比率9.3％（目標値9.0％課長相当職以上） 若手女性社員を対象とする「Woman Career Program」研修を累計3開催実施	○
		障がい者支援 障がい者雇用率（法定率の遵守）	2024年度末、2.70％（法定雇用率：2.50％）	○
		エンゲージメント向上のための「ビジョン浸透プログラム」の実施 社員意識調査スコアの向上	2022年度比+1.3％	○
		「はじめたいこと、はじめよう！プロジェクト」の実施 「はじめたいこと、はじめよう！プロジェクト」を毎年実施（計3回）	累計3回開催。応募総数3,711件、採用件数11件	○
		文化・芸術支援 アコム“みる”コンサート物語を継続開催	40回開催。来場者数26,342名、社員ボランティア延べ531名	○
	お客さま第一義を追求した 金融サービスの提供	CS経営の推進 CS（お客さま満足）マインドの向上	「CSアワード」累計3回開催。実開催およびアーカイブを含め全社員が視聴 「CS体験カード」の提出、累計9,655件	○
		お客さまの声の反映 CS改善提案カードに基づく改善活動の継続実施	「CS改善提案カード」の提出、累計4,199件（採用数186件） 個人事業主向け商品において返済方法の拡充 会員サイトやアプリの改修を実施	○
		お客さまの声の反映 お客さまの声検討会の継続実施	「お客さまの声検討会」を、各部門累計36回開催	
		効率的・効果的な集客の実施 ローン・クレジットカード事業残高 2022年度末9,085億円、2023年度末9,468億円、2024年度末9,842億円、新客数は每期26万人、累計78万人	2024年度末のローン・クレジットカード事業残高1兆733億円（計画比+545億円） 新客数累計112.3万人（計画比+34.3万人）	○
		信用保証事業を通じた地域の活性化への対応 新規保証提携拡大、既存提携先の活性化により、連結信用保証残高 2022年度末1兆1,979億円、2023年度末1兆2,540億円、2024年度末1兆3,194億円	2024年度末の連結信用保証残高1兆3,645億円（計画比+451億円）	○
		ASEANを中心とするアジア経済への貢献 新たな国への進出	マレーシアの子会社「ACOM（M）SDN.BHD.」を9月に開業	○
		ASEANを中心とするアジア経済への貢献 海外金融事業残高 2022年度末1,971億円、2023年度末1,998億円、2024年度末2,038億円	2024年度末の海外金融事業残高2,667億円（計画比+629億円）	○
		キャッシュレス決済への対応 スマートフォンによる決済への対応	クレジットカードを簡単にスマホに登録できる機能をリリース	○
		金融サービスを「as a Service型」で提供する新規事業の実現 2022年度中に新規事業の開始	2022年4月、GeNiE（ジーニー）株式会社を設立 計画の後ろ倒しにより、2024年10月にサービス提供開始	×
G	ガバナンスの強化	コーポレートガバナンス・コードへの対応の高度化 コーポレートガバナンス・コードへの適確な対応	コーポレートガバナンス・コードへの対応状況を「コーポレートガバナンス・コードに関する報告書」にて開示	○
		コーポレートガバナンス・コードへの対応の高度化 組織・会議体の整備	取締役会の実効性に関する分析及び評価を実施	
		リスク管理 リスクカルチャー醸成のための全社的活動の実施	社内勉強会や社内研修を計278回開催、延べ2,184名参加	○
		リスク管理 リスクオーナーシップに基づくリスク管理の実践	代表取締役及び役付執行役員一人ひとりから、全社員に向けて「リスクメッセージ」を発信	
		コンプライアンス コミュニケーション活性化施策の実践	全部室において、コミュニケーション施策を立案し実施	
		コンプライアンス ノーハラスメントの全社浸透に向けた施策の推進	ハラスメント研修を、累計154回開催（延べ3,799名参加） ハラスメント関連の情報提供を定量的に実施	○